

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2330		
科目名	戦術トレーニング論		
担当教員	山本 大		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 1		
講義室	1502	単位区分	選,選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能（50%） F1 探求力・課題解決力（25%） I1 理解力・分析力（25%）		
教員の実務経験	2003年から2016年までプロサッカーコーチとして、日本サッカー協会およびプロサッカー клуб（Jリーグ）で育成年代を対象に現場で指導を行うと同時に、日本サッカー協会公認の指導者養成インストラクターとして、指導者の養成に携わってきました。本授業では、戦術的課題の成功・失敗例や課題の抽出など、実際の現場でおきた具体例も取り上げながら講義をします。（第2回、第6回～第14回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進学期～3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義では、スポーツにおける戦術的思考、戦術史、戦術構造、戦術行動を行うための前提条件、戦術プランの立案のための前提条件、戦術プランの立案方法、戦術トレーニングの一般原則、戦術プラン実施にあたってコーチに求められるもの、戦術と情報等のスポーツ戦術のトレーニングに関する基本的問題を資料・視聴覚教材を用いて学習します。これによって全人的能力としての競技力における戦術力の位置づけを理解することを目的とします。授業形態は講義形式により行います。なお授業を補完・代替するためオンライン（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 戦術・PDCAサイクル・計画立案		
授業の趣旨	■副題 戦術と戦略の違いは？勝つための戦術と記録ための戦術の違いは何か？本授業では、様々な事例を基に戦術について学びます。 ■授業の目的 スポーツにおける戦術の一般原則について学習します。学習者は自身の専門種目において、コーチの戦術的な指示を理解するだけでなく、自分自身が試合中に正しい戦術的な判断を下す必要があります。本講義では、多くの事例を通して、戦術についての原理原則を整理するとともに、学習者が戦術プランを立案できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 本授業ではさまざまな事例を通して、戦術を多角的にとらえます。授業で学ぶ多くの事例は、皆さんが実際に戦術的な判断を下す時や行動するときの助けとなる内容です。		
総合到達目標	■自身が選手の立場であるいは指導者の立場で戦術的な判断ができるようになるために、様々な種目の成功事例と失敗事例を通して試合前や試合中の戦術の役割や、どういった計画が必要になるか原理原則について学修する。 ・戦術に関わる基本的な問題を説明することができる。（第2回～第14回） ・自身の専門種目において戦術的な分析ができる。（第4回～第9回） ・戦術トレーニング計画を立案できる。（第10回～第14回）		
成績評価方法	（成績評価手段） 授業レポート7回、課題レポート1回、まとめレポート1回 ※授業の進捗具合により変更する場合があります。 ■授業レポート（70%） 適応ルーブリック E1、I1 （評価の観点）講義のCues、Note、Summaryの内容（量と質）で評価します。 （フィードバック）提出後に講評を行います。 ■課題レポート（15%） 適応ルーブリック F1、I1 （評価の観点）提出・期限・内容（量と質）で評価します。 （フィードバック）発表後、講評を行います。 ■まとめレポート（15%） 適応ルーブリック E1、I1 （評価の観点）設問に対して適切に回答しているかを評価します。また回答の量（80%以上）と質（論理的）についても評価します。 （フィードバック）提出後、後日個別に対応します。		

履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明をおこなう。また授業の概要や発表などの方法を学ぶ。(I1) ③予習(120分) 戦術について知っていることをノートに書き出しておく。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読んでおく。
	2	①授業テーマ 戦術とは何か① ②授業概要 いくつかの事例を紹介し、戦術が果たす役割について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 自身の種目の戦術的な事例をまとめておく。 ④復習(120分) 講義の内容を復習し、わからない語句や意味について調べる。
	3	①授業テーマ 戦術とは何か② ②授業概要 戦術という言葉の由来、定義について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 戦術という言葉に関して、書籍や先行研究を読んでおく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	4	①授業テーマ スポーツにおける戦術① ②授業概要 スポーツにおける戦術の歴史および戦術の意義について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) 歴史レポート作成のための、書籍や先行研究を読んでおく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	5	①授業テーマ スポーツにおける戦術② ②授業概要 前回に引き続き、戦術の意義、すなわち試合で何が要求されるのかということを学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) ③予習(120分) レポート作成の資料を収集し、書籍や先行研究を読んでおく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	6	①授業テーマ 戦術行動をおこなうための前提条件① ②授業概要 戦術行動をおこなうために必要な能力や段階など前提条件について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 戦術行動を行うための前提条件について資料を収集し、書籍や先行研究を読んでおく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	7	①授業テーマ 戦術行動をおこなうための前提条件② ②授業概要 戦術行動をおこなうための前提条件について、さらに戦術行動の評価について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 戦術行動を行うための前提条件で、自身の種目にとって重要なことをまとめる。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	8	①授業テーマ 戦術プラン立案のための前提条件① ②授業概要 戦術的な課題を解決するために必要な能力の高め方について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) レポート作成の資料を収集し、書籍や先行研究を読んでおく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	9	①授業テーマ 戦術プラン立案のための前提条件② ②授業概要 個性の特性に合わせた戦術を準備するために必要な知識について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) レポート作成の資料を収集し、書籍や先行研究を読んでおく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	10	①授業テーマ 戦術プランの立案① ②授業概要 試合前の戦術のプランの立て方や、試合中のプラン変更などについて学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 自身の試合前の戦術プランとプラン変更の条件についてまとめておく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	11	①授業テーマ 戦術プランの立案② ②授業概要 試合に影響を及ぼす要素について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 自身の種目において試合に影響を及ぼす要素をとりあげ、優先順位をつける。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	12	①授業テーマ 戦術トレーニングの一般原則① ②授業概要 戦術トレーニングの内容・段階・注意点について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 自身の戦術トレーニングプランを作成する。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	13	①授業テーマ 戦術トレーニングの一般原則② ②授業概要 練習の順序やコーチの仕事について学習し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習(120分) 練習の順序についての資料を収集する。コーチの仕事についてまとめておく。 ④復習(120分) 講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。

	14 ①授業テーマ コーチに求められるもの ②授業概要 コーチになるうえで、必要なパーソナリティや選手経験は必須条件か検討し、受講生がそれについて説明できる。(E1、I1) 担当者の実務経験を踏まえて、実例を紹介しながら講義を進めます。 ③予習（120分）良い選手は良いコーチとなるか？自身の考えをまとめておく。 ④復習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。 15 ①授業テーマ 戦術トレーニングのまとめ ②授業概要 これまで学んできた講義内容を振り返り、戦術トレーニングについてのまとめレポートを作成する。(E1、F1、I1) ③予習（120分）これまでの講義内容を振り返り、不明点を確認しておく。 ④復習（120分）講義内容のまとめておく。
関連科目	戦術トレーニング論演習（SSCS3621）
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	スポーツの戦術入門（ヤーン・ケルン〔著〕、朝岡正雄ほか〔監訳〕 大修館書店）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

